



CECの調査から見る全国の
「情報科事情」



東京都立東大和高校
佐藤義弘



皆さん!参加されましたか?



- 対象 全国5000校の高等学校すべて
- 時期 平成21年2月13日～27日
- 方法 Webアンケート
- 回答者 情報科担当教諭
 - 1校から複数の回答がある可能性も

教科「情報」に関する初の全国調査





スケジュール

- 1月末 委員会初会合
- 2月中～下旬 アンケート実施
- 3月上旬 アンケート分析
- 3月下旬 報告書完成




調査項目

- 意識調査にとどめる
 - 正確な数値を避ける
- その場で回答できるように
 - 具体的な授業内容を尋ねる
- 回答者の負担軽減(年度末で忙しい)
- 授業内容を大まかに知りたい



アンケート実施


- 全国5000校にダイレクトメール
 - 2月12日に発送
 - 届かない学校もあった
- 回答期間 2月13日～2月22日
- 約2000件の回答
 - これを多いと見るか少ないと見るか



アンケート結果



- CEC:平成20年度
- 「高等学校等における情報教育の実態に関する調査」
- <http://www.cec.or.jp/ict/hsjoho.html>







(1)教育の状況-履修

- 高等学校等では、教科「情報」は、3年間で1科目2単位以上の履修が必要であるが、多くの高等学校では、1年次で履修が行われている。
- 高等学校等の教科「情報」では、多くの学校で情報Aが履修されており、普通科・総合学科では約3/4が情報Aを選択している。



(1)教育の状況-内容①

- 高等学校等の教科「情報」では、ワープロソフトや表計算ソフトのようなアプリケーションの基本操作、文字入力・タイピングやブラウザによるインターネット上の情報検索のような情報活用のための基本操作が多く指導されている。
- 一方で、これらの項目はそれほど重要とは認識されていない。



(1)教育の状況-内容②

- 基本操作に次いで、情報社会と情報に関わるモラルに関する内容が指導されている。この分野については、重要性の認識も高いが、指導への自信はあまり高くない。
- モデル化とシミュレーション、アルゴリズムとプログラミングなど、情報の科学的な理解・問題解決に関する内容はあまり指導されていない。
- また、あまり重要とも考えられていない。



結果から考えられること-1

- 情報Aが3/4の学校で開講
 - 教科書の需要数からも予想できる
 - 回答者に偏りが無い
- アプリケーションソフトの活用が多い
 - 情報Aが3/4
 - 情報Aは「情報活用の実践力」に重点
 - ある意味では当然
 - 中学校で「情報活用能力」が身につけていない


結果から考えられること-2

- 情報A・C実施校
 - 比較的学习指導要領に沿った内容
- 情報B実施校
 - 4割以上の学校で教えていない内容
 - 「コンピュータによる計測・制御」
 - 「モデル化とシミュレーション」
 - 「問題解決」

AやCよりBが心配

- 「情報の科学的理解」らしい单元なのに
 - 適切な指導法や指導事例があまりない
 - 生徒の実情から実施が困難である
- 教科の内容と生徒の間のギャップ
 - 教えられる先生が少ないのか
 - 理解できる生徒が少ないのか



(2)教員の状況-免許

- 教科「情報」は2003年度から必修修化された教科なので、他教科の教員が情報科の免許を取得し、情報科を担当している方がほとんどである。

(2)教員の状況-配置

- 教科「情報」のみを専門に担当している教員は、全体では2割強にすぎず、3/4以上の教員が「情報」以外の教科も兼任している。
- また、1校あたりの教科「情報」の教員数は、専門学科では過半数が5名以上であるが、普通科・総合学科では8割近くが3名以下であり、1名のみという学校も1/4以上ある。

(2)教員の状況-校務

- 校内の情報機器やネットワークの管理、他教員からのITに関する質問等への対応は、専門のスタッフではなく、教科「情報」を担当している教員が1人または複数で対応している例がほとんどとなっている。

(2)教員の状況-情報収集

- 情報分野は、技術の進展や社会の状況変化などにより教えるべき内容に変化が多く、常時、最新情報を知っておく必要があると指摘されている。
- 教員の多くは研修会、研究会よりもWebやペーパーメディアにより情報収集を図っている。

(2)教員の状況-研修会


- 過半数の教員は研修会に参加していないと回答している。
- 研修会に参加していない具体的な理由は、参加しにくい他律的な原因がある趣旨の回答が多かった。

情報科の教員の平均像(結果から)

- 現職等講習会で免許を取得
- 年齢は40歳前後
- 他教科との兼任も多い
 - 学校規模による担当授業時数の関係
 - 専任を置かない方針の県


ICT 2009
校内のお仕事(結果から)

- 校内ネットワークの管理
- 校内サポートセンター
- 校内の情報教育推進
- 教育の情報化で
 - 校内のネットワークも複雑化
 - 情報機器も増加
 - ネットワーク管理などはアウトソーシングで




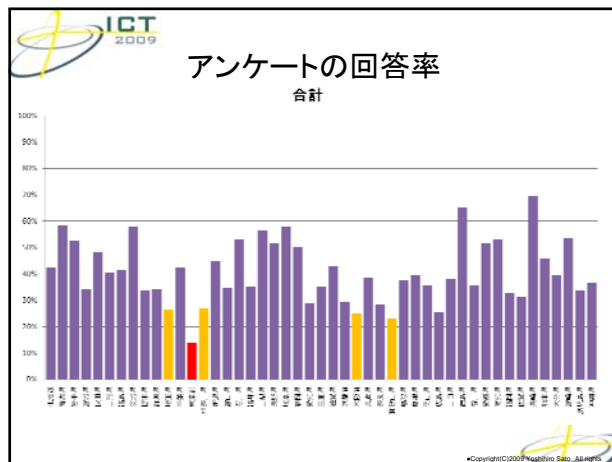
ICT 2009
教材研究・授業のアイデア(結果から)

- 普段の情報収集
- 授業見学, 研修会の参加
- 研修の時間確保が難しい
 - 情報科専任だと
 - 授業を自習にすることが難しい
 - 兼任だと
 - 別教科を優先せざるを得ない
- カリキみたいな <http://www.curriki.org>



ICT 2009
全体として

- 意外とA・Cはまとも
 - 町のパソコン教室以下からの脱却?
- Bが心配
 - Excel教室?
- それより、回答のなかった学校が心配

ICT 2009
さて、どうしましょう

- 教科として全体のレベルアップのために
 - 届かない人へのアクセス
 - 届く人へのサポート
- 兼任問題
 - 1学年6学級未満は兼任必須?
- 「情報の科学」開講の条件
 - 生徒・できる×先生・できる?

